

# ハンドピース・コントラ メンテナンス手順

※はじめにお手入れ、清掃するときは、**マスク**、**グローブ**、**メガネ**など適切な保護具をご使用ください。

## ①外部清掃



モーターまたはホースより取り外したハンドピースにテストバーを装着し、ハンドピース本体やヘッド部に付着した切削粉がチャック内部に入らないようにしてください。

## ②外部清掃



ハンドピース本体に付着した切削粉、血液、唾液等は、チャック内に入らないようにバーを装着したまま、水道流水下でブラシやハケなどを使って洗い流してください。

## ③水分拭き取り



ハンドピース本体洗浄後、タオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取ってください。

## ④注水口の清掃



テストバーを装着したまま、ユニットのホースにタービン装着し、5秒程度空ぶかしして注水が霧状になっていることを確認してください。

## ⑤ノズルクリーナーによる注水口の清掃



注水が霧状にならない時は、テストバーを取り外し、付属の針で注水口を清掃し、再度テストバーを装着して空ぶかししてください。

## ⑥スプレーの注意



スプレーは使用前に軽く振り、容器は必ず上向きで使用します。感染防止の為、滅菌前用のスプレーと滅菌後のスプレーをそれぞれ用意してください。

## ⑦バー装着からのスプレー洗浄



スパウトキャップに交換し、チャックノズルの先端をバー装着部に1mm程度挿入し、プッシュボタンを押さずにスプレーします。その際、ティッシュなどでヘッド部分を覆ってください。

## ⑧洗浄効果の確認



出てきたオイルの汚れを確認します。綺麗なオイルが出てくるまで、スプレーと汚れたオイルの拭き取りを交互に繰り返します。スプレー洗浄を怠ると汚れがたまり、チャック不良などの原因になります。

## ⑨ホース装着部からのスプレー洗浄



ホース装着部からスプレーノズルを挿入し、スプレーの圧力でハンドピースを飛ばされないようにしっかり保持します。ヘッド部から汚れたオイルが出るまでスプレーします。その際、ティッシュ等でヘッドを覆い、汚れたオイルの飛散を防ぎます。

## ⑩洗浄効果の確認



出てきたオイルの汚れを確認します。綺麗なオイルが出てくるまで、スプレーと汚れたオイルの拭き取りを交互に繰り返します。スプレー洗浄を怠ると汚れがたまり、チャック不良などの原因になります。

## ⑪滅菌



滅菌は医院ごとに行ってください。滅菌バッグに清掃したハンドピースを入れ、封をして、滅菌トレーに入れます。滅菌は135℃までの滅菌工程のみ行います。乾燥工程は絶対に行わないでください。

## ⑫注油と試運転



滅菌後はハンドピースが常温に戻ってから、⑦番、⑨番と同様の方法でスプレーし、注油を行います。注油後はハンドピースを常温に戻すために10分間は回転させず置いておきます。その後、ホースに装着します。ハンドピースにテストバーを装着し、5～10秒かけて最高回転にし約30秒間回転させて余剰オイルをしっかり抜いてください。

## ⑬ライトガイドの清掃



ユニットからの光を通すライトガイドの部分を綿棒等で清掃してください。